20th Anniversary of Charter Night

CN20周年記念誌

年報20　2009.6

蒲郡マリンライオンズクラブ

20th Anniversary of Charter Night

CN20周年記念誌
年 報20　2009.6

蒲郡マリンライオンズクラブ

目　次

CN20周年記念誌

スローガン・モットー・ライオンズの誓い・アワード　3

ご挨拶　4-7

アクティビティ一覧　8-9

CN20周年記念大会組織表　10

CN20周年記念式典　11

CN20周年記念祝賀会　12

CN20周年記念事業　13-22

16年度～19年度報告　23-26

年報20

役員の回顧と抱負　28-30

アクティビティ　31-35

例会活動報告　36-47

特別活動報告　48-52

趣味部会活動報告　53-55

新入会員　56

一ヶ年皆出席者・一ヶ年準皆出席者・退会者・物故会員　57

役員・委員会組織　58-59

退職者挨拶・編集後記　60

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety
（自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる）

モットー

We Serve （われわれは奉仕する）

2008−2009 スローガン

334複合地区「温故知新」革新への挑戦

334-A地区「情熱でつくる…出会い、友愛、奉仕と感謝」

蒲郡マリンLC「熱き情熱　初心を忘れず　ウイサーブ」

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、
平和と自由を守り、社会奉仕に精進する。

アワード

薬物乱用防止貢献賞

青少年健全育成貢献賞

会長

L 竹内康彦

一年間、感謝

一年間、会員、幹事、会計、役員理事の皆様のご支援、ご協力のもとに、何とか会長職を全うすることができましたこと、心より感謝とお礼申し上げます。

また、蒲郡マリンライオンズクラブ創立20周年という節目の年の会長職ということで、仕事関係以外のいろいろな経験をさせていただきました。私自身の人生の中で、思い出深い、貴重な一年間になったと思います。

この一年間の事業活動については、20周年事業中心ということで、詳細は大会委員長さんの報告に託し、省略いたしますが、各事業推進にあたっては、各委員長のもと、すばらしい奉仕事業を展開されましたことに敬意と感謝の念にたえません。

今後のクラブ運営について、考えさせられることは、昨今の急変する経済、社会情勢にどう対応していくか、その中にあって、最大の懸念である「会員の減少」というハンディのもとに、従来の規則に基づいた組織運営の面では大変厳しい状況が続くと思われ、思い切った変革、実行が必要かと思います。企業経営と同じ「報告、連絡、相談」が一層重要となり、会員同志が共通の認識の上で、友愛と相互理解の精神のもとに、楽しい例会が運営され「奉仕活動」が実行されることを祈念します。

最後に、今一度、本当に皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

ご 挨 拶

皆様の御協力により20周年各事業、行事が無事終了致しましたことに対し心より感謝申し上げます。私は当初、100年に1度と言われる不況下の中、又メンバー数が創立時の35%まで減少した状況で今までの周年と同じ様な記念事業を展開することは物理的に不可能と感じて居りましたが会員各位の御協力、努力によって見事クリアーして頂きました。

「青少年健全育成」をメインテーマに各事業を実施致しました。各委員会、部会から提案された各事業はどうしてもマンネリ化するのは否めませんがその中で特に新しい試みとして「竹千代の道」の整備と探訪でした。行政も中々踏み込んでくれない価値ある事業であったと思います。蒲郡にも身近な所に市民に忘れられた史跡のあることを気付くと共に江戸時代のロマンを感ずるひとときでした。式典及び祝宴には220名余の方々の温かい祝福を頂き盛大に又なごやかに行われました。

事業の中の「親子ふれあいコンサート」では皆様の貴重な会費を有効に活用出来ず、一つの汚点を残し大変申し訳なく思って居ります。この失敗経験を生かしてクォーター周年に向けスタートして頂きたいと思います。

最後に会員各位に「ありがとう。御苦労様でした。」と申し上げて御礼の言葉と致します。

20周年大会委員長

L 市 川 伊 嗣

2R LCIF・国際協調委員

L 夏 目 憲 行

2回目のリジョン委員を終えて

5～6年前の2R四献推進委員いらい2度目になる地区委員の重責を会員皆様の協力を頂き無事終えることが出来ました。2度目のリジョン委員とあって前回の四献推進委員の時とは違いますが、勝手を少しは理解している為、スムーズに馴染める事が出来ました。稲垣ガバナーもLCIFは会員増強と並び今年度の最重要項目に掲げ334A地区で最低でも1000口の献金を目標でした。スタートから4～5ケ月は景気もそこそこでしたが、世界的大不況が秋以降に発生し献金が思ったように集まるか心配しましたが、最終的に1200口も献金を集めることが出来、会員の皆様に大変な協力を頂いた事を感謝いたします。この一年、地区LCIF委員を経験させて頂きLCIFへの理解が少しは出来ました。今年度の献金額は334A地区が初めて世界一になりましたが、献金を沢山出すだけではなく、交付金を利用してアクトを行って初めて1000ドル献金した価値も生きる事を学びました。

一年間協力頂き又、貴重な体験をさせて頂きまして有り難うございました。

20周年記念式典の成功に感謝

幹事

L 鳥居憲臣

私がマリンLCにチャーターナイトで入会し今回が節目の幹事に指名され大変驚きました。なんと言っても20周年の記念式典又アクトでは多くの記念事業が多数ありました。どれひとつとっても蒲郡市民、子供達にとっては、心に残る思い出の事業だと思いました。又運営にあたりましては会員の皆々様の力が一つになって全部成功に、終わりました事を感謝しております。私は自分自身の健康には大変自信がありましたが人生60年目で、この大役の時に初めて大病いたしまして、健康のありがたさを、しみじみと知りました。ただ運良く、病いの方も今のところ軽くすみ自分の歯科医師の仕事、ライオンズの会の運営も何とか、こなすことができました。本当にこの一年間、わがままな幹事を見守っていただき、ありがとうございました。25周年の時には、十分協力いたします。

クラブ会計を終えて

会計

L 市川善章

2年に渡る会計職は長くもあり短くもありましたが、ゾーン・リジョンの引継ぎ会や他クラブの周年記念大会・懇親会に接する機会を多く参加することができ、他クラブの様子に感心したり共鳴したりする中で、蒲郡マリンライオンズクラブにも改めて愛着を感じることにもなりました。

未曾有の経済危機の中でのクラブのあり方、運営方法も年々新たな展開を見せてきているなかでライオンズの基本精神に沿うことはもちろんですが、時流にも沿った『個性あるクラブ運営』について考えさせられる一年となりました。支えて頂いた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。